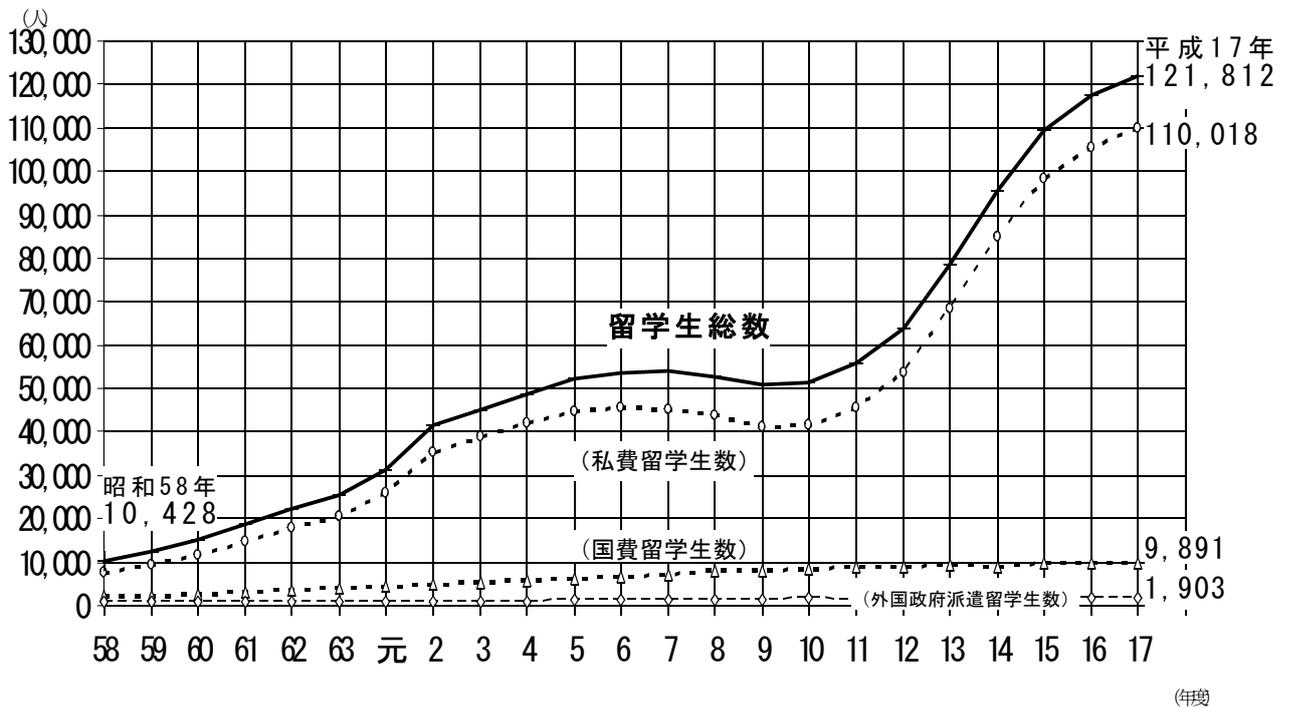


## 留学生交流の推進について

## 現 状

## ○ 留学生受入れ数の推移

平成15年、留学生受入れ数は約11万人となり、昭和58年に策定した「留学生受入れ10万人計画」を達成。平成17年には受入れ数約12万人となっている。



(注) 文部科学省、日本学生支援機構調べ

## ○ 主要国における受入れの状況

	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	オーストラリア	日 本
高等教育機関在学者数(千人)	9,010	1,386	1,799	2,175	929	3,655
留学生(受入れ)数 (人)	565,039 (2004年)	325,760 (2003年)	246,136 (2003年)	245,298 (2003年)	151,798 (2004年)	121,812 (2005年)
国費留学生数 (人)	3,361 (2004年)	4,812 (2004年)	5,406 (2003年)	10,229 (2003年)	3,387 (2000年)	9,891 (2005年)
留学生(受入れ)数 高等教育機関在学者数 (%)	6.3	23.5	13.6	11.2	16.3	3.3

(注) 文部科学省、日本学生支援機構、Institute of International Education (米)、Higher Education Statistics Agency (英)、ドイツ連邦統計庁、フランス国民教育省、Australian Education International (豪)、ブリティッシュ・カウンシル、Deutscher Akademischer Austausch Dienst (独)、フランス大使館、オーストラリア大使館調べ

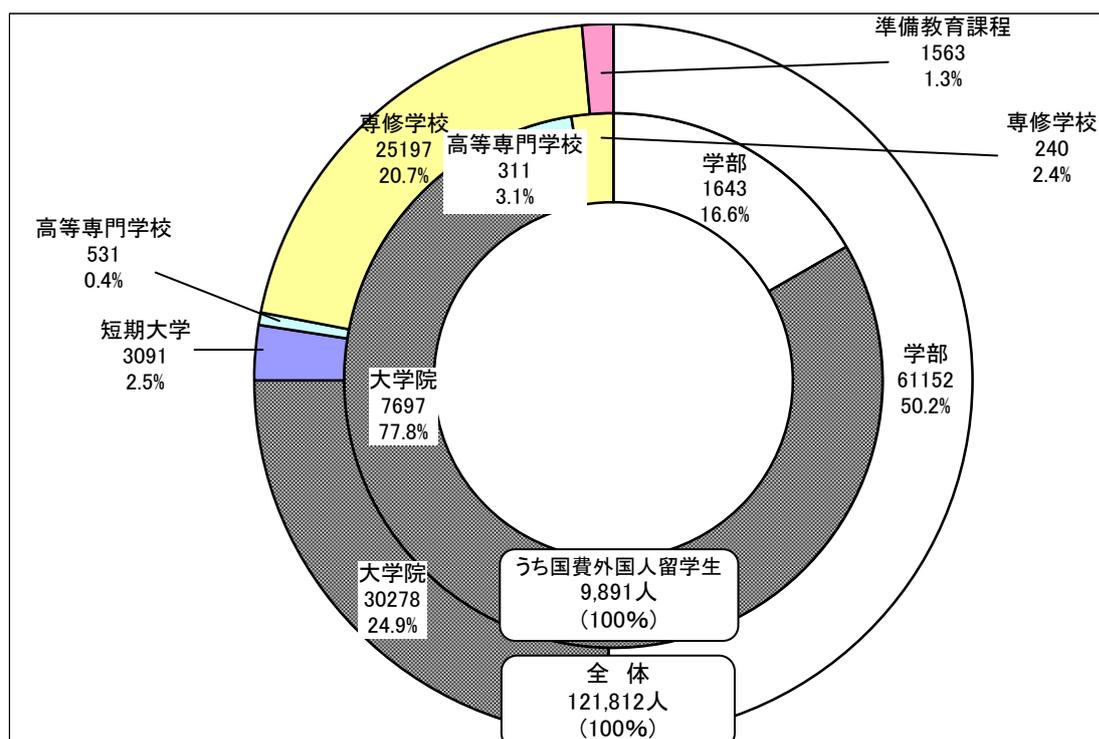
○ 出身国（地域）別留学生数（主要国・地域のみ）（平成17年5月1日現在）

中国からの留学生が昨年に引き続き増加。韓国・台湾からの留学生を加えると全留学生に占める割合は82.4(83.0)%に達する。

国(地域)名	留学生数	構成比	うち国費外国人留学生	構成比
中国	80,592人 (77,713)	66.2% (66.3%)	1,736人 (1,810)	17.6% (18.5%)
韓国	15,606人 (15,533)	12.8% (13.2%)	1,011人 (1,021)	10.2% (10.4%)
台湾	4,134人 (4,096)	3.4% (3.5%)	0人 (0)	0.0% (0.0%)
マレーシア	2,114人 (2,010)	1.7% (1.7%)	245人 (255)	2.5% (2.6%)
ベトナム	1,745人 (1,570)	1.4% (1.3%)	531人 (530)	5.4% (5.4%)
タイ	1,734人 (1,665)	1.4% (1.4%)	611人 (622)	6.2% (6.3%)
アメリカ	1,646人 (1,456)	1.4% (1.2%)	135人 (132)	1.4% (1.3%)
インドネシア	1,488人 (1,451)	1.2% (1.2%)	643人 (600)	6.5% (6.1%)
その他	12,753人 (11,808)	10.5% (10.1%)	4,979人 (4,834)	50.3% (49.3%)
計	121,812人 (117,302)	100.0% (100.0%)	9,891人 (9,804)	100.0% (100.0%)

( )内は平成16年5月1日現在の数

○ 在学段階別留学生数（平成17年5月1日現在）



○ 大学別留学生数(平成17年5月1日現在)

大学名	留学生数	大学名	留学生数
東京大学	2,111	神戸大学	963
早稲田大学	1,949	東京国際大学	883
立命館アジア太平洋大学	1,884	立命館大学	836
大阪産業大学	1,259	千葉大学	818
京都大学	1,227	帝京大学	808
東北大学	1,173	横浜国立大学	792
筑波大学	1,163	北海道大学	769
名古屋大学	1,150	広島大学	746
九州大学	1,103	明海大学	736
日本大学	1,100	慶應義塾大学	724
拓殖大学	1,084	城西国際大学	640
国土館大学	1,071	秀明大学	625
大阪大学	1,029	東京外国語大学	622
流通経済大学	1,026	中央大学	617
東京工業大学	982	上武大学	612

(日本学生支援機構調べ)

(注)ここでいう「留学生」とは、大学において教育を受ける外国人学生で、出入国管理及び難民認定法別表第一に定める「留学」の在留資格により在留する者である。

また、上記の大学は、国公立大学全体の中で留学生受入数の多い順に30大学抽出したものである

○ 平成16年度に卒業(修了)した外国人留学生の進路状況

進路 在学段階	日本国内				出身国(地域)				日本・出身国(地域)以外				その他		小計		不明	卒業(修了) 留学生総 数
	就職		進学		就職		進学		就職		進学		人数	%	人数	%	人数	人数
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%						
大学学部	2,245	31.0%	2,708	37.3%	598	8.2%	30	0.4%	22	0.3%	59	0.8%	1,591	21.9%	7,253	100.0%	1,387	8,640
大学院(修士)	1,424	30.8%	1,526	33.0%	840	18.2%	29	0.6%	21	0.5%	22	0.5%	761	16.5%	4,623	100.0%	1,181	5,804
大学院(博士)	577	31.2%	49	2.7%	744	40.2%	8	0.4%	58	3.1%	11	0.6%	402	21.7%	1,849	100.0%	555	2,404
短期大学	189	15.1%	765	61.2%	73	5.8%	17	1.4%	0	0.0%	8	0.6%	197	15.8%	1,249	100.0%	94	1,343
高等専門学校	8	6.5%	114	91.9%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	124	100.0%	2	126
専修学校(専門課程)	1,248	14.9%	5,029	60.1%	855	10.2%	80	1.0%	17	0.2%	31	0.4%	1,104	13.2%	8,364	100.0%	697	9,061
準備教育機関	14	0.9%	1,254	83.7%	39	2.6%	6	0.4%	0	0.0%	5	0.3%	181	12.1%	1,499	100.0%	26	1,525
合計	5,705	22.9%	11,445	45.9%	3,149	12.6%	171	0.7%	118	0.5%	136	0.5%	4,237	17.0%	24,961	100.0%	3,942	28,903

(日本学生支援機構調べ)

注)その他・・・就職・進学にあてはまらない者、不明・・・進路がわからない者

## ○ 平成16年度に卒業（修了）した外国人留学生の学位取得状況

専攻分野	修士課程			博士課程			
	入学者数(a)	学位取得者数(b)	b/a	入学者数(a)	学位取得者数(b)	論文博士取得者数(内数)	b/a
人文	724	529	73.1	208	45	16	21.6
社会	2,566	1,928	75.1	411	133	29	32.4
理学	208	119	57.2	204	87	14	42.6
工学	1,108	871	78.6	741	344	40	46.4
農学	366	320	87.4	344	228	17	66.3
保健	120	97	80.8	523	417	44	79.7
教育	525	432	82.3	47	15	2	31.9
芸術	134	118	88.1	38	14	0	36.8
家政	33	32	97.0	9	3	0	33.3
その他	814	509	62.5	595	192	26	32.3
合計	6,598	4,955	75.1	3,120	1,478	188	47.4

注)入学者数・・・修士課程は平成15年度入学者数、博士課程は平成14年度入学者数(医歯系は平成13年度)  
 学位取得者数・・・平成16年4月から平成17年3月(博士課程は論文博士含む)  
 「その他」には、入学時に専攻分野が確定していない者を含む

## ○ 留学生宿舎の状況 (平成17年5月1日現在)

- ・留学生総数 121,812人 (前年度比 4,510人増)
- ・公的宿舎入居留学生数 26,773人 (前年度比 850人減)

①学校が設置する留学生宿舎 14,729人

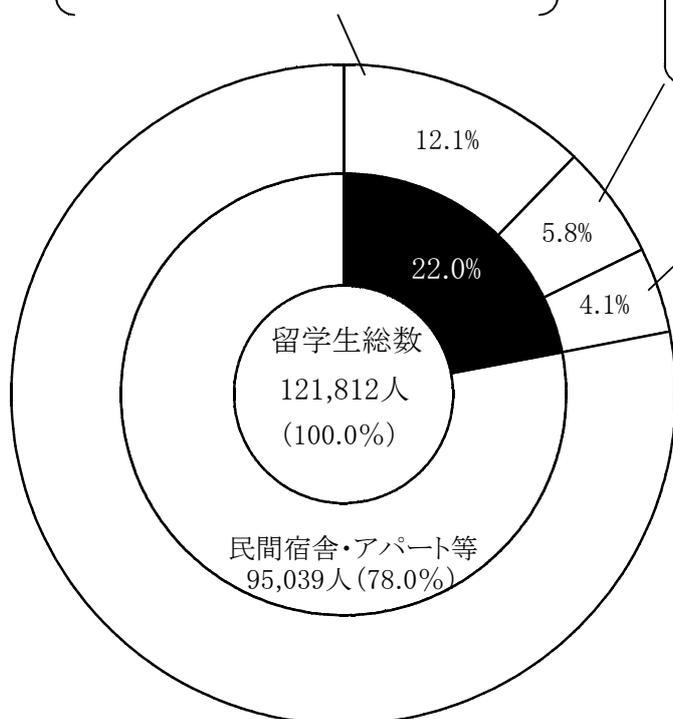
国立大学等	87校	6,426人
公立大学	15校	219人
私立大学等	294校	8,084人

②公益法人等が設置する留学生宿舎 7,052人

日本学生支援機構設置留学生宿舎	2,352人
公益法人設置留学生宿舎	797人
地方公共団体設置留学生宿舎	1,337人
公営住宅等	1,771人
民間企業の社員寮	795人

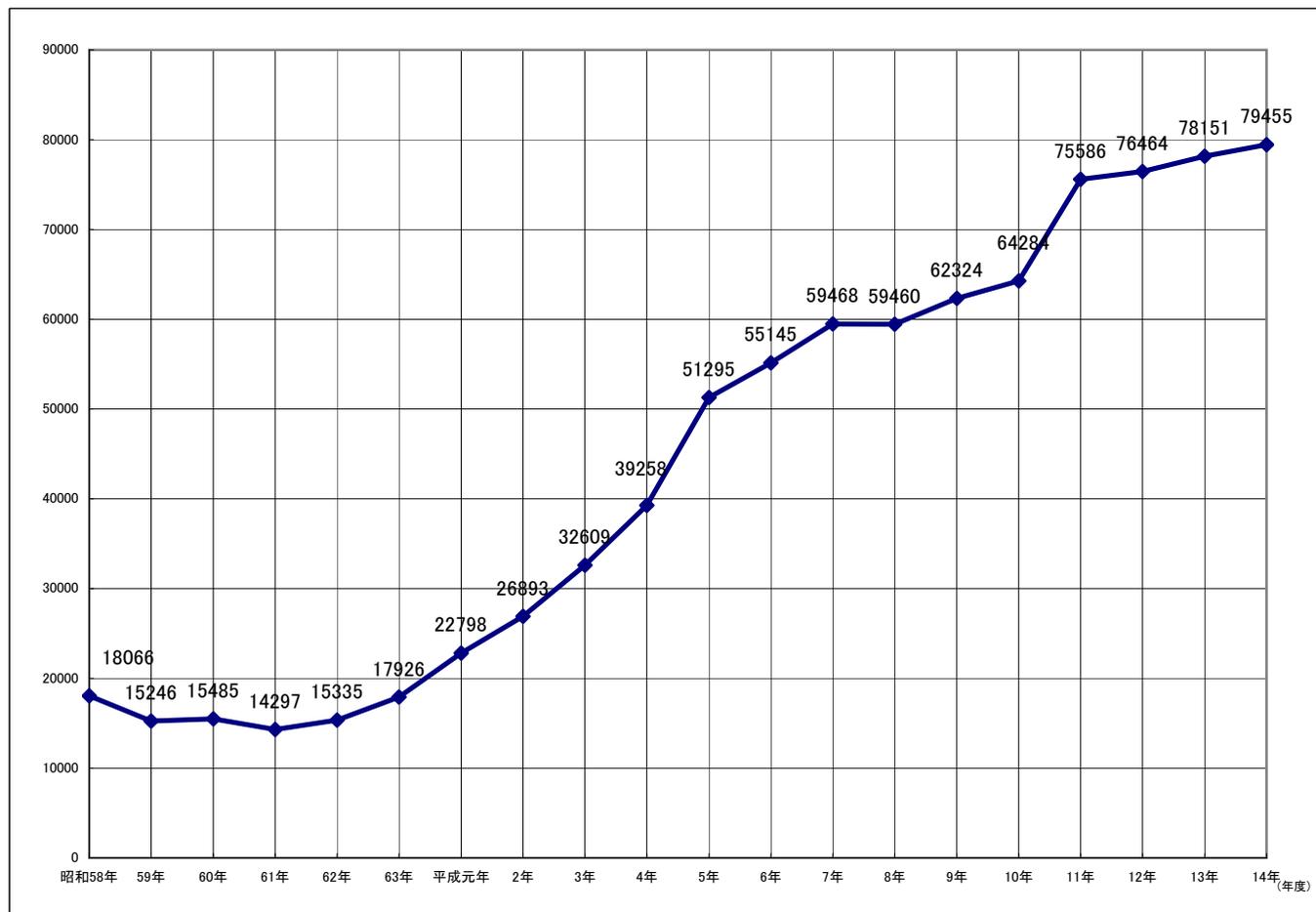
③学校が設置する一般学生寮 4,992人

国立大学等	105校	2,574人
公立大学等	25校	126人
私立大学等	232校	2,292人



(注) 日本学生支援機構調べ

## ○ 日本から海外への留学生数の推移



(出典) ユネスコ文化統計年鑑(昭和58年～平成11年)、OECD調べ、IIE(OPEN DOORS)、中国教育部調べ等(平成12年～)

## ○ 日本人の主な留学先・留学生数(2002年)

国・地域	留学生数(人)	留学生総数に占める割合(%)
アメリカ合衆国	45,960	57.8
中国	16,084	20.2
イギリス	5,741	7.2
オーストラリア	3,271	4.1
ドイツ	2,317	2.9
フランス	1,483	1.9
カナダ	1,460	1.8
その他	3,139	4.0
合計	79,455	100.0

アメリカ合衆国はIIE「OPEN DOORS」、中国は中国教育部、イギリス、オーストラリア、ドイツ、フランス、その他はOECDデータ(2002)、カナダはCBIEデータ(2001)より

## 留学生交流の基本的な方針

(平成15年12月中央教育審議会答申)

- 留学生の受入れ・派遣の両面で一層の交流の推進
- 留学生の質の確保と受入れ体制の充実

## 留学生交流の課題とその対応

### ○ 留学生受入れ数の量的拡大

留学生数は着実に増加し「留学生受入れ10万人計画」を達成したが、大学等の在学者に占める留学生の割合が欧米先進国並みの水準になるよう受入れを更に拡大していく必要がある。

#### 【対応策】

- ① 我が国の大学が留学生にとってより魅力あるものとなることを目指した教育研究水準の一層の向上
- ② 海外における日本留学説明会の開催など留学情報の提供・相談体制の強化
- ③ 私費外国人留学生に対する奨学金の充実

※民間団体等による奨学金

地方公共団体等による奨学金…奨学金を支給している地方公共団体等の数

23 地方自治体、30 自治体系国際交流団体 (H16 年度実績)

大学等による奨学金…奨学金を支給している大学等の数 208 校 (H16 年度実績)

民間団体による奨学金…奨学団体数 150 団体 (H16 年度実績)

(うち、渡日前に奨学金を予約できる 16 団体を含む)

### ○ 外国人留学生の質の一層の向上

- ・ 留学生の不法残留や犯罪が増加しており、また、大学が定員確保のための安易な受入れをする傾向がみられることから、勉学意欲に欠ける留学生を受入れないようにすることが必要である。(平成17年1月の総務省による留学生の受入れに関する政策評価においても留学生の質の向上へ重点を移すことが必要である旨指摘)
- ・ 世界各国から優秀な留学生をより積極的に日本に引きつける必要がある。

### 【対応策】

- ① 平成17年1月各大学等に対して改めて通知を発出し、経済的基盤の確認を含む一層厳格な入学者選抜の実施やきめ細かい在籍管理を行うよう指導するとともに、文部科学省のほか地方入国管理局にも退学者等について報告するよう指導
- ② 留学を円滑に実施するため、国内外で(独)日本学生支援機構が実施する日本留学試験の更なる普及
- ③ 成績基準の明確化など国費外国人留学生の選抜方法の改善（今年度から実施）

### ○ 日本から海外への留学生数の拡大

我が国の国際競争力の強化やグローバル化した社会で活躍できる人材を育成するという観点から、より多くの日本人学生が短期留学や学位取得を目指して海外留学を経験できるよう、国として支援する必要がある。

### 【対応策】

- ① 海外の大学院等において学位取得や専門分野の研究をさせるための奨学金等を支給する「長期海外留学支援事業」、大学間交流協定等に基づき1年以内の短期間留学する学部・大学院生を支援する「短期留学推進制度（派遣）」の充実
- ② 我が国から諸外国の大学・大学院への留学を希望する者に対する(独)日本学生支援機構の「日本学生支援機構奨学金貸与制度(有利子)」の充実
- ③ 地方自治体による奨学金制度（13自治体）や民間団体による奨学金制度（33団体）も有り

※このほか、外国政府や外国政府関係団体が、その国・地域の大学等へ留学する日本人を対象に奨学金事業を実施するものもある。（58奨学金）

## ○ 帰国後のフォローアップの充実

諸外国との親密な人的ネットワークを形成するという留学生交流の意義を高めるため、留学生が帰国した後についてのフォローアップの充実を図る必要がある。

### 【対応策】

- ① (独)日本学生支援機構の行う帰国留学生に対する支援事業の充実
- ② 留学生名簿作成や国別同窓会結成、ホームページによる情報提供等を通じた各大学におけるフォローアップ事業の奨励

## 留学生交流関係の平成18年度予算の概要

平成18年度予算額 465億円 [平成17年度予算額 471億円]

【他に、奨学金貸与制度による海外留学の支援】

平成18年度予算額 34億円 (17億円)

### 1 国費外国人留学生受入れの充実 227億円(229億円)

- ・ 受入れ 11,683人 → 11,783人 (100人増)
- ・ 月額 学部 135,000円 → 134,000円  
大学院 175,000円 → 172,000円

### 2 私費外国人留学生等への援助 131億円(134億円)

- (1) 私費外国人留学生等学習奨励費 80億円(79億円)
  - ・ 大学・専門学校等 11,300人 → 11,350人 (50人増)
  - ・ 日本語教育機関 600人 → 650人 (50人増)
- (2) 授業料減免学校法人援助 33億円(33億円)
- (3) 短期留学推進制度 18億円(22億円)
  - ・ 受入 1,950人 → 1,600人 (350人減)

### 3 日本人学生に対する海外留学の支援 8億円(9億円)

- (1) 長期海外留学支援 3億円(4億円)
  - ・ 派遣 133人 → 120人 (13人減)
- (2) 短期留学推進制度 5億円(5億円)
  - ・ 派遣 665人 (前年度同)

〔この他に、  
○奨学金貸与制度(有利子)による海外留学の支援 34億円(17億円)  
・ 貸与人員 1,400人 → 3,132人 (1,732人増)〕

### 4 留学生に対する教育・研究指導の支援 99億円(99億円)

- (1) 地域における留学生交流の推進
- (2) 大学等における留学生への教育・研究指導の支援 等

※ それぞれの計数ごとに四捨五入しているため、合計額とは必ずしも一致していない。